所属 心理学部	職名 教授	氏名 小川 一美	学位 博士（心理学）	兼担している研究科 心理医療科学研究科
研究分野 心理学		研究分野のキーワード 社会心理学		

学歴

1996年03月	三重大学教育学部卒業
1998年03月	名古屋大学大学院教育学研究科博士課程前期課程修了
2002年03月	名古屋大学大学院教育発達科学研究科博士課程後期課程単位取得満期退学

職歴

2002年04月	名古屋大学大学院教育発達科学研究科、教育学部 助手
2002年11月	大同工業大学教養部 講師
2004年04月	愛知淑徳大学コミュニケーション学部 講師
2007年04月	愛知淑徳大学コミュニケーション学部 准教授
2010年04月	愛知淑徳大学心理学部 准教授
2011年04月	愛知淑徳大学大学院心理学研究科 兼担
2013年04月	愛知淑徳大学大学院心理医療科学研究科 兼担
2015年04月	愛知淑徳大学心理学部 教授
2017年04月	Northeastern University, Visiting Research Professor (～2017年9月)
2023年07月	国立国語研究所共同研究プロジェクト共同研究員

Ⅰ 研究活動

著書(CD・DVD等を含む)・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表年月	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名(共著の場合のみ記入)	該当箇所・該当頁数
著書(CD・DVD等を含む)					
コミュニケーション・デザインのこころ戦略―対人コミュニケーションの最適化―	分担執筆	2023年08月	ナカニシヤ出版	大坊郁夫（編）	共同執筆につき本人担当部分抽出不可能
ディスカバリー社会心理学	分担執筆	2024年10月	北大路書房	太幡直也・上原俊介	76頁～92頁
認知コミュニケーション障害の理解と評価・訓練―右半球損傷／前頭葉損傷／外傷性脳損傷／小脳性認知情動症候群―	分担執筆	2025年07月	協同医書出版社	中村光	24頁～28頁
学術論文					
参加者が考える社会的スキル・トレーニングにおいて重要だと思う事柄―トレーニング前後の変化に着目して―	共著	2020年11月	愛知学院大学総合政策学部 総合政策研究（愛知学院大学総合政策学会紀要） 23 1	太幡直也・小川一美・松本明日香	1頁～8頁
PM理論に基づくリーダーの発言と表情がメンバーに与える影響	共著	2021年03月	愛知淑徳大学心理学部 愛知淑徳大学論集―心理学部篇― 11	三和円香・小川一美	1頁～13頁
完全主義傾向と主観的睡眠評価の関連についての検討	共著	2021年04月	一般社団法人日本産業精神保健学会 産業精神保健 29 2	浦邉綾子・古井景・小川一美	128頁～136頁
社会的スキル・トレーニングによるスキルの変化とトレーニングへの評価の関連	共著	2021年05月	パーソナリティ研究 第30巻第1号	太幡直也・小川一美・松本明日香	1頁～3頁
Development of the Test of Nonverbal Cue Knowledge-II (TONCK-II)	共著	2022年09月	Springer Journal of Nonverbal Behavior 46 4	Kazumi Ogawa・Judith A. Hall.	569頁～592頁
専攻学問に対する価値と職業志向性および大学生活充実度との関連	共著	2023年03月	東海心理学会 東海心理学研究 16	松本明日香・小川一美	27頁～37頁
日本人と英語母語話者の会話に対す	共著	2023年03月	愛知淑徳大学心理学部 愛知	志水勇之進・小川一美	51頁～67頁

る態度の検討			淑徳大学論集―心理学部篇―13		
完全主義傾向および睡眠に対する主観的認知が主観的睡眠評価と生理学的睡眠状態に与える影響についての検討	共著	2024年08月	心身医学 64 5	浦邉綾子・堀礼子・古井景・加藤ちひろ・今井正人・眞野まみこ・ 野村敦彦・篠邉龍二郎・小川一美・清瀧裕子	452頁～459頁
The influence of emotional facial expression intensity on decoding accuracy: High intensity does not yield high accuracy	共著	2024年10月	The Japanese Psychological Association Japanese Psychological Research 66 4	Yunoshin Shimizu・Kazumi Ogawa・Masanori Kimura・Ken Fujiwara・Nobuyuki Watanabe	521頁～540頁
学会発表					
参加者からみた社会的スキル・トレーニングにおいて重要だと思う事柄―トレーニング前後の変化に着目して―	共同発表	2020年09月	日本教育心理学会第62回総会(オンライン)		
Test of Nonverbal Cue Knowledge-II (TONCK-II) の妥当性検討―TONCK，認知能力，解読力に関する自己評定との関連から	共同発表	2021年08月	日本社会心理学会第62回大会(Web開催)		
対人コミュニケーションの社会心理学	単独発表	2021年12月	日本コミュニケーション障害学会第63回講習会(オンデマンド開催)		
英語母語話者の会話に対する態度（１）―会話意識尺度, Willingness to Communicate scale, Unwillingness to Communicate scaleの関連について―	共同発表	2022年09月	日本心理学会第86回大会(日本大学文理学部)		
英語母語話者の会話に対する態度（２）―会話に対する態度と人口統計学的変数の関係―	共同発表	2022年09月	日本心理学会第86回大会(日本大学文理学部)		
日本人用非言語的手がかりに関する知識テスト（TONCK-II for J）の作成(2)―社会心理学の知識および解読の正確さとの関連―	共同発表	2023年09月	日本社会心理学会第64回大会(上智大学)		
基本６表情における感情の表出強度と表情解読の正確さの関連	共同発表	2023年09月	日本社会心理学会第64回大会(上智大学)		
解読スキルを測定する日本人用課題遂行型テストの作成	共同発表	2023年09月	日本心理学会第87回大会(神戸国際会議場)		
解読に関するパフォーマンスと知識の関係性―測定領域および文化的背景に着目して―	共同発表	2024年08月	日本社会心理学会第65回大会(日本大学文理学部，オンライン，オンデマンド)		
非常時メッセージが心理状態に及ぼす影響（１）―自律神経活動による検討―	共同発表	2024年09月	日本心理学会第88回大会(熊本城ホール)		
非常時メッセージが心理状態に及ぼす影響（２）―能登半島地震による大津波警報発令時の避難指示アナウンスの効果―	共同発表	2024年09月	日本心理学会第88回大会(熊本城ホール)		
非常時メッセージが心理状態に及ぼす影響（３）―能登半島地震のNHK避難アナウンスの評価―	共同発表	2024年09月	日本心理学会第88回大会(熊本城ホール)		
多様な強度の表情解読テスト (FEET-I) の妥当性検証	共同発表	2024年09月	日本心理学会第88回大会(熊本城ホール)		
Eye Movement Patterns in the Decoding of Facial Expressions of Emotion: Focusing on the relationship with Decoding Accuracy.	共同発表	2024年10月	2024 APS Global Psychological Science Summit(Online)		
作品・制作等					

その他業績					
DO YOU HAVE A LOT OF KNOWLEDGE ABOUT NONVERBAL COMMUNICATION?	単独	2023年01月	Society for Personality and Social Psychology, Character and Context Blog		Blog

Ⅱ 学会等における主な活動

受賞		
2002年02月	平成13年度日本社会心理学会若手研究者奨励金（現：奨励賞）	本賞は、日本社会心理学会が、若手会員の優れた研究活動を支援するために設定した賞である。
2014年12月16日	公益社団法人日本心理学会2014年度学術大会特別優秀発表賞	2014年に開催された日本心理学会第78回大会で、「非言語情報に関する知識が表情解読の正確さに及ぼす影響―解読スキルの自己評定の妥当性検討とともに―」という演題で発表した研究が、審査の結果、優秀と認められた。
所属学会		
1996年04月 ～ 現在	日本社会心理学会	2017年04月 ～ 2021年03月 理事 2017年04月 ～ 2021年03月 大会運営委員 2019年04月 ～ 2023年03月 編集委員 2023年04月 ～ 現在 常任理事
1996年05月 ～ 現在	日本グループ・ダイナミックス学会	2007年04月 ～ 2009年03月 理事 2013年04月 ～ 2017年03月 理事
1997年04月 ～ 現在	公益社団法人 日本心理学会	2015年04月 ～ 2019年03月 地域別代議員 2017年03月 ～ 2021年09月 認定心理士の会運営委員会委員 2017年10月 ～ 2019年09月 認定心理士の会東海地区支部会会長 2021年04月 ～ 現在 地域別代議員 2023年11月 ～ 現在 認定心理士資格認定委員会委員
1998年04月 ～ 現在	東海心理学会	2002年04月 ～ 2003年05月 事務局 2009年05月 ～ 現在 理事 2015年06月 ～ 2021年06月 常任理事
1998年04月 ～ 現在	一般社団法人日本教育心理学会	2016年01月 ～ 2018年12月 常任編集委員 2019年04月 ～ 2020年03月 2018年度優秀論文賞選考委員会委員
1998年04月 ～ 現在	日本顔学会	
1999年09月 ～ 現在	Society for Personality and Social Psychology	
2001年04月 ～ 現在	社会言語科学会	2009年04月 ～ 2013年03月 編集委員会委員 2013年04月 ～ 2015年03月 企画委員会委員 2015年04月 ～ 2017年03月 事業委員会委員 2021年04月 ～ 2025年03月 編集委員会委員 2023年04月 ～ 現在 特集号エディター
2001年06月 ～ 2012年03月	日本ビジネス実務学会	
2003年01月 ～ 現在	日本学校心理士会	2014年04月 ～ 2023年03月 愛知支部監事
2009年05月 ～ 現在	一般社団法人 電子情報通信学会ヒューマンコミュニケーション基礎研究会	2009年06月 ～ 2015年05月 専門委員会専門委員
2010年04月 ～ 現在	産業・組織心理学会	
2014年04月 ～ 現在	日本感情心理学会	

Ⅲ 社会活動

2019年04月01日 ～ 2023年03月31日	科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）（基盤研究(C)（一般）） 課題番号19K03216「解読力を測定する日本人用課題遂行型テストの開発」（平成31年度から令和3年度）
2020年08月25日	一般財団法人あんしん財団 研修会講師
2021年03月20日	日本聴能言語福祉学院 若宮ST同窓会 研修会講師
2021年08月30日	一般財団法人あんしん財団 研修会講師
2021年12月01日 ～ 2021年12月31日	日本コミュニケーション障害学会 第63回講習会講師
2022年04月01日 ～ 現在	科学研究費助成事業（学術研究助成基金補助金）（基盤研究(B)） 課題番号22H01747「情報伝達の多側面に着目した実効性の高い非常時メッセージの原理解明と開発」（令和4年度から令和7年度）
2022年09月07日	一般財団法人あんしん財団 研修会講師

2024年07月28日	第16回東海障害者歯科臨床研究会総会および学術大会 講演「良好な対人関係のためのコミュニケーションとは」
2025年05月25日	令和7年度前期 岩倉市生涯学習講座 講師
2025年06月22日	令和7年度前期 岩倉市生涯学習講座 講師

Ⅳ 教育活動

教育実践上の主な業績	年 月 日	概 要
1 教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む)		
「データ解析Ⅰ」という授業における授業方法等の工夫	2004年04月 ～ 2022年09月	他の授業担当教員と共に，2004年度から2006年度までは詳細な授業プリントを作成し使用していたが，使いやすさ等を考え，2007年度からはテキストを作成し使用している。本授業内容は卒業研究実施時にも役立つため，授業終了後もテキストは学生が使用し続けている。
「対人コミュニケーションの社会心理学」という授業における授業方法等の工夫	2016年04月 ～ 現在	「対人コミュニケーション論」という2015年度までの科目から名称を変更したが，授業方針等は変更しておらず，授業内での学生の思考時間を確保するため，書き込み式の講義ノートを作成し使用させることで効率的かつテンポの良い授業を目指している。講義ノートは変わらず好評である。
2 作成した教科書、教材、参考書		
2020年度 データ解析Ⅰ	2020年04月01日	編著：丹藤克也・小川一美・平島太郎・蔵冨恵，印刷・製本：株式会社クイックス
2021年度 データ解析Ⅰ	2021年04月01日	編著：丹藤克也・小川一美・大久保諒・木村ゆみ，印刷・製本：株式会社クイックス
2022年度 データ解析Ⅰ	2022年04月01日	編著：丹藤克也・小川一美・大久保諒・木村ゆみ，印刷・製本：株式会社DIO AGENCY
2023年度 データ解析Ⅰ	2023年04月01日	編著：丹藤克也・小川一美・大久保諒・木村ゆみ，印刷・製本：株式会社DIO AGENCY
2024年度 データ解析Ⅰ	2024年04月01日	編著：丹藤克也・小川一美・浦邊綾子，印刷・製本：株式会社DIO AGENCY
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
4 その他教育活動上特記すべき事項		
5 大学運営		
FD及び自己点検・評価専門委員会委員長	2018年04月 ～ 2021年03月	
学長補佐（自己点検・評価担当）	2018年04月 ～ 2021年03月	
総合情報メディア・セキュリティ委員会委員	2018年04月 ～ 2021年03月	
大学協議会委員	2018年04月 ～ 現在	
FD及び自己点検・評価委員会委員	2018年04月 ～ 現在	
研究助成委員会委員	2018年04月 ～ 現在	
心理医療科学研究科教務委員長，教務連絡会委員	2021年04月 ～ 2022年03月	
FD及び自己点検・評価専門委員会委員	2021年04月 ～ 2022年03月	
文化系クラブ「Free Music」顧問	2021年11月 ～ 現在	
運動系クラブ「A. R. S. C.」顧問	2021年11月 ～ 現在	

心理学部学部長	2022年04月 ～ 現在	

Ⅴ 資格・免許、特許等

資格・免許

1996年03月	小学校教諭1種免許	
1996年03月	幼稚園教諭2種免許	
2003年01月	学校心理士	
2012年12月15日	公益社団法人日本心理学会 認定心理士	
2018年10月01日	一般社団法人社会調査協会 専門社会調査士	
2021年12月	公益社団法人日本心理学会 認定心理士（心理調査）	

特許等